

令和6年度 八潮市立保健センター事業計画

1 健康づくり推進事業

(1) 健康づくり懇話会

地域ぐるみによる健康づくり事業を推進するため町会と協働で健康づくり懇話会を開催する。

実施町会	実施月
2か所予定	通年

(2) 健康スポーツまつりの開催

保健・医療・福祉・運動（スポーツ）の連携と啓発を図り、健康づくりを市民とともに考える場として、第22回八潮市健康スポーツまつりを開催する。

実施日
10月27日（日）

(3) ウォーキング講習会の開催

市民の健康づくりのため、身近にできる運動であるウォーキングの講習会を実施する。

事業名	回数
ウォーキング講習会	3回（予定）

(4) ラジオ体操講習会の開催

気軽に楽しめる生涯スポーツの一環として、正しいラジオ体操を身に付け、健康の維持増進を図るために講習会を実施する。

事業名	回数
ラジオ体操講習会	1回

(5) 健康長寿サポーター養成講習会の開催

埼玉県が進める「健康長寿埼玉プロジェクト」の一環として、埼玉県健康長寿サポーター事業実施要領に基づき、「健康長寿サポーター養成講習会」を実施する。

事業名	回数	実施月
健康長寿サポーター養成講習会	3回	通年

(6) コバトンALK00（あるこう）マイレージ事業の実施

誰でも使いやすく、楽しく歩ける機能が充実した歩数管理アプリを活用する「コバトンALK00マイレージ事業」を実施する。

事業名	実施月	計画人数
コバトンALK00（あるこう）マイレージ	通年	1,200人

(7) 体力づくり講座の開催

筋トレ&ウォーキング講座、栄養講座を実施し、健康づくりに取り組む市民を支援する。

事業名	回数	実施月
体力づくり講座	3回	10月

(8) 八潮市いのち支える自殺対策計画を踏まえた事業

市民向けにゲートキーパー養成講座を開催する。

事業名	実施月
ゲートキーパー養成講座	10月予定

(9) 【新規】「第3次八潮市健康づくり行動計画、食育推進計画」及び「第2次八潮市いのち支える自殺対策計画」の策定

現行計画が令和6年度で計画期間を終了するため、次期計画を策定する。

(10) 健康管理システムの維持管理

健康管理システムの標準化対応やHPVワクチン接種の副本登録対応を行う。

(11) 食育推進事業

第2次八潮市食育推進計画に基づき、おとなのための食育セミナー、食育指導、栄養講座、栄養相談、食に関する情報提供を行い、食育の推進を図る。

2 健康増進事業

市民の健康の保持増進を図るため、20歳以上の市民を対象に健康増進に関する事業を実施する。また、受診率向上策として、今年度40歳の方・41～71歳の方に、検診の受診勧奨通知を発送する。また、令和6年度より、歯周疾患検診対象者へ個別の受診勧奨通知を送付する。

事業名	実施回数	実施月	区分	計画人数	備 考
健康手帳の交付	随時	通年	個別	1,300人	対象：40歳以上 (健診(検診)受診者等に交付)
健康教育	250回	通年		1,000人	保健センター、地区公民館等で実施
健康相談	25回	通年		250人	保健センター、地区公民館等で実施
健康診査等					
健康診査		4月～11月	個別	30人	対象：40歳以上の生活保護受給者 (内容は特定健診に準ずる)
骨粗しょう症検診	23回	5月～2月	集団	1,600人	対象：20歳以上(女性のみ) 集団検診、ヘルシーチェック健康診査に併設。一部単独検診あり。
【拡充】 歯周疾患検診		6月～11月	個別	540人	対象：20、30歳及び40～70歳までの 5歳ごとの節目年齢
肝炎ウイルス検診 (HCV抗体・HBs抗原検査)		4月～11月	個別	380人	対象：40歳以上の肝炎ウイルス検診未 受診者(40～70歳までの5歳ごとの節 目年齢者は無料)
ヘルシーチェック 健康診査	10回	5月～2月	集団	350人	対象：20～39歳(結果説明会実施)
がん検診					
【拡充】 胃がん検診(内視鏡)		6月～12月	個別	350人	対象：50歳以上、2年に1回の受診(内 視鏡検査とバリウム検査の選択制)
胃がん検診(X線)	13回	5月～12月	集団	910人	対象：40歳以上、毎年受診可 同日実施
肺がん検診				1,300人	
大腸がん検診		4月～11月	個別	7,000人	特定健康診査、健康診査に併せて実施 (大腸がん検診単独受診も可)
子宮頸がん検診 (無料クーポン券対象)		6月～11月	個別	2,040人 (40人)	対象：20歳以上の女性、2年に1回の受 診(クーポン対象者20歳) 22～39歳までの前年度未受診者へ受診 勧奨通知を発送
乳がん検診 (無料クーポン券対象)	13回	5月～12月	集団	880人 (100人)	対象：40歳以上の女性、2年に1回の受 診(クーポン対象者40歳) 41歳～70歳までの前年度未受診者へ受 診勧奨通知を発送
		6月～11月	個別	1,000人 (100人)	
前立腺がん検診		4月～11月	個別	400人	対象：50歳～75歳までの5歳ごとの節目 年齢の男性
結核検診(注)	13回	5月～12月	集団	600人	
精神保健事業					
こころの健康相談	12回	通年	個別	24人	精神科医による健康相談
こころの健康講座	2回	通年	集団	100人	
精神保健訪問指導	随時	通年	個別	12人	保健師による精神保健指導

注：肺がん検診で撮影したフィルムを使用し判定するため、65歳以上の肺がん検診受診者数の再掲である。結核検診のみの実施回数は1回とし、受診者数は10人を予定。

○集団(胃・肺・乳がん、骨粗しょう症)検診は、同日に実施する。

■【新規】アピランスケア用品購入費用助成

対象者：がん治療に伴う頭部の脱毛や乳房の切除によりウィッグや胸部補整具を購入した方
(申請日時点で八潮市に住民票のある方)

助成対象物品	対象人数	助成期間	助成額
(1) ウィッグ等 医療用ウィッグ、 装着用ネット及び毛付き帽子	35人	通年	20,000円 または助成対象 物品の合計額の うち、いずれか 少ない額 ※(1)(2)いずれ も1回ずつ
(2) 胸部補整具等 ・補整下着等(補整下着、補整パッド、専用入浴着等) ・エプテゼ(人工乳房、人工ニップル、顔面の補綴、その他 身体の欠損等を補うための体表に取り付ける人工物等)	15人		

■【新規】高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施

住み慣れた地域で自立した生活ができる期間を延伸し、QOLの維持向上を図るため、高齢者の特性を踏まえ、保健事業(生活習慣病重症化予防等)と介護予防事業(フレイル対策や低栄養対策等)について、健康増進課、長寿介護課、国保年金課と連携を図り一体的に事業を実施する。

《実施内容》

- (1) 地域の健康課題の分析・対象者の把握
- (2) 75歳上高齢者に対する個別支援(ハイリスクアプローチ)
※詳細は下記1)～3)
- (3) 高齢者の通いの場への積極的関与等(ポピュレーションアプローチ)

事業名	計画人数	実施月	方式	備考
1) 健康状態不明者へのアプローチ	60人	10月 から	個別	①健診及び医療未受診者を抽出し、調査票等を送付・返送により、健康状態を把握。 ②返信がない、健康状態不良者には、訪問指導を行い、医療や介護予防事業等へつなぐ。
2) フレイル予防	60人			・健診の結果、機能低下や閉じこもり等がある者を抽出し、訪問支援を行い実態把握及び必要な介護予防事業へつなぐ。
3) 生活習慣病重症化予防	20人			・健診の結果、要精密検査や要医療のうち、医療受診がない者について、医療機関への受診勧奨通知を送付し、未受診等の方について、個別相談・訪問指導を行う。

3 予防接種事業

(1) 定期予防接種

接種ワクチン		対象年齢	計画人数	実施期間
ロタリックス (2回)		生後6週～生後24週未満	(延)1,120人	通年
ロタテック (3回)		生後6週～生後32週未満	(延)720人	
小児用肺炎球菌 (開始時期により回数1回～4回)		2か月～5歳未満	(延)3,200人	
B型肝炎 (3回)		2か月～1歳未満	(延)2,400人	
B C G		1歳未満 (注1)	800人	
5種混合 (注2)	1期初回 (3回)	2か月～7歳6か月未満	(延)3,200人	
	1期追加	1期初回3回接種後、6か月以上		
麻しん風しん 混合	1期	1歳～2歳未満	800人	
	2期	小学校就学前の1年間	750人	
水痘 (2回)		1歳～3歳未満	(延)1,600人	
日本脳炎 (注3・4)	1期初回 (2回)	6か月～7歳6か月未満	(延)2,650人	
	1期追加 (1回)	1期接種後、概ね1年以上		
	2期	9歳～13歳未満		
HPV (子宮頸がん予防) ワクチン (3回) (注5)		小学6年生～高校1年生に相当する 年齢の女子	(延)1,500人	
二種混合	2期	11歳～13歳未満	780人	
男性の風しん予防接種 (注6)		昭和37年4月2日から昭和54年4月1 日生まれの男性。風しん抗体検査 を実施し、抗体価が低い者に風し ん予防接種を実施	110人	
高齢者向けインフルエンザ		65歳以上 (予防接種法で定める60 歳～65歳未満の者を含む)	13,200人	10月～ 翌年1月
新型コロナウイルス		65歳以上 (予防接種法で定める60 歳～65歳未満の者を含む)	11,500人	秋冬
高齢者肺炎球菌		満65歳の方 (予防接種法で定める60歳～65歳未 満の者を含む)	330人	通年

注1：標準接種年齢…5～8か月未満。

注2：標準接種年齢…1期初回は2～7か月。1期追加は初回終了後6～18か月をおく。

注3：平成17年度から平成21年度にかけての日本脳炎予防接種の積極的勧奨（接種の個別通知）の差し控えにより接種を受ける機会を逸した者については、平成23年5月20日から特例対象者として、20歳未満までの間に定期予防接種として接種可能となっている。

注4：標準接種年齢…1期初回は3歳～。1期追加は4歳～。2期は9歳～。

注5：平成25年6月から接種の積極的勧奨を差し控えていたが、令和3年10月の国の通知に基づき、令和4年度から積極的勧奨を再開した。また、積極的勧奨を差し控えにより接種機会を逃した者（平成9年度生まれから平成18年度生まれ）について、令和7年3月31日までの3年間、キャッチアップ接種として再度接種の機会が設けられることになった。

注6：男性の風しん予防接種は令和3年度までの時限措置となっていたが、令和4～6年度まで期限を延長した。（抗体検査は800人分）

(2) 任意予防接種

風しんの免疫を持たない妊娠中の女性が風しんに罹患すると、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性があるため、妊娠希望者やその配偶者または同居人に対して任意の風しん予防接種費用の一部助成（上限3,000円）を行うものである。

対象者	予定人数	助成期間
(1) 妊娠を予定または希望している女性で 16歳以上50歳未満の方 (2) 妊婦の配偶者または同居人	56人	通年

4 感染症予防事業

(1) 感染症予防への備蓄並びに普及・啓発

- ① 新感染症の流行に備え、消毒液、防護服セット等の計画的な備蓄を行う。
- ② 感染症の流行状況に応じ、市ホームページをはじめとした普及啓発を行う。
- ③ イベント等の周知機会を捉え、感染症の普及啓発を進めていく。

5 保健センター管理運営事業

(1)旧保健センターの維持管理

旧保健センターの所管をアセットマネジメント課へ移管するまでの間、旧保健センターの管理を行う。

6 休日診療所運営事業

休日における急病患者の診療を確保するため、初期救急医療として実施する。

事業名	実施日数
休日診療	71日

7 母子保健事業

母子保健法に基づく、母子健康手帳の交付や健康教育、健康相談、健康診査等を実施する。

また、母親の孤立化防止や不安軽減を図るため、各事業を通し、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行う。

事業名	実施日数	実施月	区分	計画人数	備考
早期不妊検査費等助成	随時	通年	個別	77組	不妊及び不育症検査費用の一部助成（夫婦1組につき1回限り、上限2万円）（女性年齢35歳未満に限り3万円）
妊娠届出／母子健康手帳交付	随時	通年	個別	840人	
妊婦健康診査	随時	通年	個別	830人	妊婦一般健康診査（14回）、HIV抗体検査、子宮頸がん検診、HTLV-1検査、性器クラミジア検査
パパ・ママ学級	12日	通年	集団	480人	月1回日曜日に開催
プレママサロン	9日	通年	集団	（延）120人	助産師等による講話、妊婦同士の交流
新生児聴覚スクリーニング検査	随時	通年	個別	800人	新生児聴覚検査の費用の一部助成
未熟児養育医療の給付	随時	通年	個別	30人	
未熟児訪問指導	随時	通年	個別	30人	保健師及び委託助産師による訪問指導
新生児訪問指導	随時	通年	個別	440人	委託助産師による訪問指導
妊産婦訪問指導	随時	通年	個別	440人	委託助産師による訪問指導
こんにちは赤ちゃん訪問	随時	通年	個別	330人	こんにちは赤ちゃん訪問員による訪問（妊婦さん訪問を含む）
母子保健訪問指導	随時	通年	個別	（延）500人	保健師による訪問指導
離乳食教室（初期）	12日	通年	集団	150人	管理栄養士による5～6か月児を対象とした離乳食指導
離乳食教室（後期）	12日	通年	集団	150人	管理栄養士による9～11か月児を対象とした離乳食指導
4か月児健康診査	随時	通年	個別	830人	
10か月児健康診査	随時	通年	個別	830人	
1歳6か月児健康診査	15日	通年	集団	720人	はみがき教室併設
3歳児健康診査	15日	通年	集団	720人	はみがき教室併設
はみがき教室	30日	通年	集団	1,400組	1歳6か月児・3歳児健診に併設
すこやか相談	30日	通年	集団	（延）230人	乳幼児の発育発達に関する個別相談 小児発達専門医相談14回、 心理相談30回、言語相談12回
ママのこころの相談	12日	通年	個別	24人	臨床心理士による育児不安等への相談・助言
子育てメンタルサロン	12日	通年	集団	（実）10人	子育て不安の軽減を目的としたグループ活動
0歳児ファーストブック事業	12日	通年	集団	70人	図書館職員による本の読み聞かせ、乳幼児相談廃止に伴い離乳食教室（初期）に併設
子育て応援サイト・アプリ	随時	通年			子育て支援情報、母子保健、予防接種情報をモバイルにて提供
【拡充】 産婦健康診査	随時	通年	個別	800人	出産後概ね1か月程度までに受ける産婦健康診査費用の一部助成 R4年度：1人につき1回助成開始 R6年度：1人につき2回助成開始
【拡充】 産後ケア事業	随時	通年	個別 又は 集団	（延）940人	出産後1年以内の母子を対象とした助産師等による育児指導・相談等の支援 R4年度：短期入所型、居宅訪問型開始 R5年度：通所型（集団型）開始 R6年度：通所型（個別型）開始

【新規】 低所得妊婦に対する初回産科等受診料助成	随時	通年	個別	10人	低所得の妊婦に対し、妊娠の判定のための受診料を助成
【新規】 こども家庭センター	随時	通年	個別	(延)2,200人	子育て世代包括支援センター（利用者支援事業母子保健型）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）を一体的な組織として妊婦・子育て家庭に対する相談支援を実施

8 出産・子育て応援事業

妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援の充実を図るとともに、子育てに係る商品やサービスを購入するための経済的支援を一体的に実施する。

給付の種類	給付人数
出産応援給付金	830人
子育て応援給付金	830人